

ISSN 1882-9511

THE AICHI-GAKUIN JOURNAL OF PHARMACEUTICAL SCIENCES

# 愛知学院大学薬学会誌

VOLUME 5

DECEMBER 2012

愛知学院大学薬学会

THE AICHI-GAKUIN SOCIETY OF  
PHARMACEUTICAL SCIENCES  
NAGOYA JAPAN

ISSN 1882-9511

# 愛知学院大学薬学会誌

第5巻 2012年12月

*THE AICHI-GAKUIN JOURNAL OF PHARMACEUTICAL SCIENCES*

VOLUME 5 DECEMBER 2012

愛知学院大学薬学会  
THE AICHI-GAKUIN SOCIETY OF  
PHARMACEUTICAL SCIENCES  
NAGOYA JAPAN

# 巻 頭 言

## 薬学部附属「医療生命薬学研究所」開設

医療生命薬学研究所 所長 佐藤 雅彦

時が経つのは早いもので、本学薬学部が創設されて7年が経ちました。その間、4年制薬学部1期生と6年制に移行しての1期生が卒業しました。これまで、本学薬学部は、教育に重点を置いていましたが、今後は、教育だけでなく大学の使命である研究にも力を注いでいかなければなりません。平成23年度に6年制薬学部の完成年度を迎えたこと、平成24年4月より大学院薬学研究科博士課程がスタートしたこともあって、薬学部における研究の向上を図るため、平成24年4月より本学薬学部附属機関として「医療生命薬学研究所」が発足されました。

本研究所は、医療生命薬学分野に関する総合的な研究を行うことによって、健康の増進並びに医療の向上に寄与することを目的としています。本研究所では、優れた研究を数多く生み出し、その研究成果を積極的に世界に発信していくとともに、医療生命薬学分野で世界をリードしていくことによって、国際的な学術研究情報の発信拠点になることを目指しています。さらに、研究人材の育成・強化の面でも貢献していきます。

本研究所の特色の1つとして、薬学部各講座の専門分野にとらわれることなく、社会的ニーズの高い研究テーマに効率的、複合的に取り組むため、研究所内に分野横断的かつ連携性の高い2つの研究ユニット（創薬科学ユニットと生命薬学ユニット）を設置しました。

さらに、本研究所では、研究の充実・活性化を図るため、若手所員を対象に医療生命に関連した先駆的プロジェクト研究に対して研究助成を実施するとともに、学外の著名な研究者を招いて特別講演会を開催しています。

このように、本研究所は、薬学部の研究拠点として、大学院薬学研究科と連携をとりながら活動していきます。皆様のさらなるご理解とご協力をお願い申し上げます。

医療生命薬学研究所ホームページ：<http://www.phar.agu.ac.jp/research/>

### 【戯言】

最近、本学薬学部学生を対象とした大学院説明会で話をする機会があり、そのためのスライドを作成する際に、「薬学研究の魅力」ってなんだろうと改めて考えてみました。即座に思いついたことは、「①世界で初めての発見・開発・証明ができる。②生命の神秘を探求できる。③医療や社会に貢献できる。④研究成果をまとめた学術論文は人類の歴史に刻まれる。」でした。さらに、「何で大学の教員になったのか」って振り返って見たところ、答えは単純で、「自由な研究がしたくて大学教員になった」でした。今もその気持ちはかわらず、「目のつけどころのいい研究を、遊び心を持って！」をモットーに日々研究を進めています。

## 目 次

巻頭言 薬学部附属「医療生命薬学研究所」開設  
医療生命薬学研究所 所長 佐藤 雅彦

### 総説

名古屋大学医学部附属病院で始めた薬剤師外来の果たしてきた役割  
～服薬指導の成果を数値で評価～ 1  
山村恵子、長田孝司、渡邊法男、長谷川雅哉

外来・入院患者ならびに地域住民を対象としたお薬セミナー  
～高齢者に対する医薬品適正使用の推進と薬剤師の社会貢献の評価～ 15  
長田孝司、白松貴子、西本和生、山村恵子

### 学会・研究会報告

日本薬学会第2回全国学生ワークショップ報告書 21  
水上嗣海

山豆根由来RXRアゴニスト活性成分の同定と機能解析 25  
石田幸大、中島健一、田邊宏樹、井上 誠、小谷仁司、永津明人

### 医療生命薬学研究所

医療生命薬学研究所組織 27

薬学部医療薬学専攻 三期生 卒業論文課題一覧 29

講座紹介・業績リスト 35

評議員会便り 81

薬学会会則 85

投稿規定 88